

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	嬉野市障がい者生活向上推進委員会		
開催日時	令和 7 年 11 月 20 日（木） 14：00～15：00		
開催場所	嬉野市役所（嬉野庁舎） 1－1 会議室		
傍聴の可否	○可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委 員	福田まゆみ委員、古川信子委員、坂口典子委員、 諸岡博子委員、横田武文委員、小池和彦委員 佐熊朋子委員	
	事務局	福祉課長、福祉課副課長	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	要配慮者・支援者のための防災行動マニュアル		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	要配慮者・支援者のための防災行動マニュアルについて		
内 容			
審議経過		嬉野市障がい者生活向上推進委員会条例第5条により、委員の互選により、坂口典子委員が会長に選出された。	
		議題 要配慮者・支援者のための防災行動マニュアルについて (防災行動マニュアルが改定されたことの説明)	
	事務局	防災行動マニュアル第3章 要配慮者ごとの対応例についてご意見をお願いします。特に P21 からの第3章の2 障がいのある方について。	
	委員	【主な修正・要望事項】 用語について 避難所での支援者として「ガイドヘルパー」という名称が使われている。「ガイドヘルパー」は専門的な制度利用を想起させるため、災害時の避難所では一般的ではない。近年はあまり使われない表現である。	
	事務局	→ 修正を検討する	
	委員	【その他の防災関連意見】 ヘルプマーク・内部障害の周知: 外見で分からない障害（内部障害等）を持つ方が支援を求めやすくするため、避難所受付での手帳確認や、ヘルプマークの活用啓発が必要。スタッフ側も声掛けの意識を持つよう、マニュアルだけでなく日頃の周知が重要である。	
	委員	トイレの設備: オストメイト対応や多目的トイレがどこの避難所にあるか、当事者は不安を感じている。ハザードマップとは別に、設備の有無がわかる一覧表等の作成を検討してほしい。	

	事務局	ホームページ等での周知や一覧表の検討を進める。
	委員	避難の実態として、実際に避難した経験者は少ないが、「何を持っていくか」「どこへ逃げるか」の混乱が予想される。家族間での共有や、防災訓練等の機会を通じた啓発が必要。
	事務局	今後の委員会活動について マニュアル検討以外の今後の活動方針や、障害当事者の悩み共有についてご意見をお願いします。
	委員	会員の高齢化が進んでおり、若い世代（親世代）の参加が少ない。ネットワーク作りが課題。
	委員	活動内容や相談会等の情報を、市報（特集記事など）や回覧板を活用して広く周知し、潜在的なニーズを持つ層へアプローチする。
	委員	活動内容として、堅苦しい会議だけでなく、座談会やイベント参加など、気軽に集まれる場づくりを検討してはどうか。
		閉会